

Gordon Research Conference(Conductivity & Magnetism in Molecular Material)に参加して

2016年8月14日から19日にかけて、アメリカ合衆国ボストン近郊の Mount Holyoke College (South Hadley, Massachusetts)にて Gordon Research Conference(Conductivity & Magnetism in Molecular Materials)という会議が開催されました。Gordon Research Conference は生物・化学・物理などに関連した研究分野の会議を主催するグループで、80年以上の歴史を持った格式高い研究集会です。現在では年間に約200件の自然科学に関する様々な会議を行っており、特徴として privileged communication というものがあります。これはまだ publish されていない成果であっても closed・off-record を前提に議論するということであり、そのため世界で現在行われている最先端の研究を聞き、議論することができます。今回はその中でも、UCLA の S. Brown 氏と NHMFL の S. Hill 氏が Chair として開催した分子性物質における伝導性と磁性に関する会議である Conductivity & Magnetism in Molecular Materials に物性物理化学研究室から今城が参加し、ポスター発表を行いました。

会議は午前中と夕食後の口頭発表と夕食前のポスターセッションで組まれており、昼過ぎには長い休憩時間があります。この休憩では研究者同士の交流ができるようになっており、自由にスポーツやディスカッションなどが行われていました。口頭発表は全て招待講演で、有機スピントロニクス、幾何学的フラストレーション、Mott 転移や超伝導、分子磁性体・単分子磁石などの分野の著名な研究者方が講演を行い、どれも非常に興味深い内容で盛んに議論が行われていました。今城は「Low Temperature Electronic State of β'' -Type Organic Superconductors」という題目でポスター発表を行いました。ポスターセッションは和やかな雰囲気でしたが、ディスカッションは積極的に、様々な方面から質問を受けました。

ボストンは日本と比べ温度・湿度ともに低かったため、穏やかな気候で過ごしやすく、名物のロブスターやクラムチャウダーも非常に美味でした。また、ボストン中心地にはアメリカ独立運動に関わった歴史ある街並みが広がっており、会議終了後は活気のある綺麗な港町を周遊しました。

(今城周作)

